学校番号	101

令和８年度　情報科

教科	情報	科目	情報Ⅰ	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	情報Ⅰ　（日本文教出版）						
副教材等	Excel でまなぶプログラミング　（実教出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

座学では、情報モラルやデジタル化の仕組みといった内容が中心となり、プリント学習だけでなく体験型教材や視聴覚教材などを踏まえながら学習していきます。

実習では、利用頻度の高い「文書処理ソフト」「表計算ソフト」「プレゼンテーションソフト」の３つのソフトを学習し、情報の「収集」「処理」「表現」「発信」といった技術を身に付け、その目的に応じた「使い分け」「連携」といった応用まで発展させます。さらには、動画編集、VBA を中心にプログラミング実習を通して発展的な問題解決の手段も習得してもらいます。

2　学習の到達目標

情報に関する科学的な見方・考え方を働かせ、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用し、情報社会に主体的に参画するための資質・能力を次のとおり 育成することをめざす。

１．〔知識・技能〕コンピュータをはじめとした情報機器を活用したコミュニケーション能力の確立および、データサイエンスを通じて理解を深め技能を習得するとともに、society5.0 に向けた次世代への在り方について理解を深める。

２．〔思考・判断・表現〕問題の発見および解決に向けて、活用する情報技術を考え、複数のパターンによる表現の試行錯誤をすることで適切な方法について模索・発見し、活用する力を養う。

３．〔学びに向かう人間性〕情報と情報技術を活用する上で法規や制度、マナーなど個人の役割や責任を理解し上で、AI やロボット、仮想空間など新たな情報社会への視野を広げ、主体的に参画する態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	効果的なコミュニケーションの実現、コンピュータやデータの活用について理解し、技能を身につけているとともに、情報社会と人との関わりについて理解している。	事象を情報とその結び付きの視点から捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に用いている。	情報社会との関わりについて考えながら、問題の発見・解決に向けて主体的に情報と情報技術を活用し、自ら評価し改善しようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	文書処理	・文書処理ソフト(Word)活用 タイピング 基本操作・書類作成	a: 文書処理ソフトウェアの基本的な操作を身に付けることができたか。完成例通りの文書を作成できたか。 b: コンピュータを利用する上で必要な手続きを身に付けることができたか。 c: タイピングについては毎時継続成長の記録を Excel 等つかって記録し、グラフを作成する。	提出データ 実技試験	提出データ 実技試験	記録シート
	情報社会の問題解決	・情報とは ・情報セキュリティ ・知的財産権 ・個人情報 ・情報技術の発展 ・テクノストレス	a:知的財産権や個人情報は権利や法律によって扱い方が定められていることを理解している。 b: どのような状態において情報セキュリティ上のリスクがあるかを判断できる。AI 技術など Society5.0 の世界について考え、発表することができる。 c: 身近な事例から、個人情報について考えようとしている。	発表資料、 定期考査	提出プリント 定期考査、 発表	提出プリント、パフォーマンス課題、観察
	コミュニケーションと情報デザイン	・デザインの基本 ピクトグラム ・文書処理ソフト、プレゼンテーションソフト活用 ポスターセッション プレゼンテーション	a: 情報デザインによる問題解決の手順を理解している。 b: 収集した情報を伝える対象や効果的な方法を考えて整理することができる。自分が意図したサイズや背景色を表現できる。オリジナルのピクトグラムを作成することができる。 c: ユニバーサルデザインやユーザビリティに配慮してデザインの工夫を考えようとしている。ポスターを主体的に分析しようとしている。ポスター、プレゼンの企画に主体的に参加しようとしている。	提出データ	作品	パフォーマンス課題、作業振り返りシート、観察

2学期	情報のデジタル化	・デジタルデータと２進法 ・論理回路 ・文字・音のデジタル化 ・画像・動画のデジタル化	a:アナログとデジタルの特徴と２進法による表現と情報量の単位について理解している。デジタル化する手順である、標本化、量子化、符号化について理解している。 b: 数を２進法、10 進法、16 進法で表現することができる。デジタル化された画像のファイルサイズを色・解像度・階調の観点から考察している。 c: データの種類を主体的に区別しようとしている。デジタル化や２進法に関心を持とうとしている。	定期考査	提出プリント 定期考査	提出プリント 観察
	コンピュータとプログラミング	・コンピュータのしくみ ・アルゴリズムとプログラム Excel VBA	a: コンピュータのしくみについて理解している。アルゴロジックを通してプログラミングの基礎を理解している。VBA を用いてプログラムを作成・実行・保存する技能を身につけている。 b: 効率よく結果を出すために、条件や目的に合った簡潔でわかりやすいアルゴリズムについて考察している。 VBA を用いて自分が意図する動作を表現することができる。 c: VBA を用いたプログラミングに主体的に取り組もうとしている。	定期考査、提出データ	提出データ	提出ワーク 観察
3学期	情報システム	・情報システム ・情報通信技術 ・問題解決 防災と情報 災害時に活用できる情報システムについて考え、情報通信技術の歴史に触れながら災害とともに変化していく情報社会について理解する。また、地図ソフトを活用し、徒歩帰宅ルートを思考する。	a: 災害時に情報、情報機器、および媒体、システムを活用して生き抜く力がある。 b: 災害時に適切に情報を収集・発信し、考え、行動にうつすことができる。 c: 災害時に受け身にならずに行動することができる意志をもつことができている。	提出データ	地図ソフトで作成したデータ	提出ワーク 振り返りシート

	データベース	・表計算ソフト(Excel)活用 基本操作 表・グラフ作成 関数活用 データベース機能活用	a: 表計算ソフトウェアの基本的な操作を身に付けることができたか。見やすい表やグラフを作成することができたか。 b: 表計算ソフトウェアで目的の結果を得るための計算式を考えることができたか。 適切な表やグラフを選択することができたか。 c:相関関係について身近な２つの相関関係について仮説を立てて主体的にデータ分析に取り組もうとしている。	提出データ 実技試験	提出データ 実技試験	提出データ 発表

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度